

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境					0.40		-		2.7
1 音環境				2.7	0.15	2.7	1.00		2.7
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.45	3.0	0.45		
1.2 遮音				3.0	0.45	3.0	0.45		
1 開口部遮音性能				3.0	0.67	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.33	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.11	1.0	0.11		
2 温熱環境				2.1	0.35	2.0	1.00		2.0
2.1 室温制御				3.3	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.49	3.0	0.60		
2 外皮性能		住宅:断熱性能等級3相当 病院(共用部とも):窓システムSC:0.46、U=3.38(W/m2K)程度、外壁 その他:U=0.89(W/m2K)		4.0	0.31	3.2	0.40		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.20		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				3.3	0.25	3.4	1.00		3.3
3.1 昼光利用				3.0	0.30	3.5	0.30		
1 昼光率		住宅住戸は2.0% ≤ [昼光率]		3.0	0.60	4.0	0.55		
2 方位別開口					-	3.0	0.14		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.31		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		共用部:ブラインドと庇を合わせることでグレアを制御します。 住居・宿泊部:カーテンと庇を合わせることでグレアを制御します。		4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.2	0.25	3.0	1.00		3.1
4.1 発生源対策				3.0	0.55	3.0	0.63		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.35	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能					-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.11		-		
1 CO ₂ の監視					-		-		
2 喫煙の制御		ビル管理規則にて全館禁煙とする		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.7
1 機能性				2.2	0.40	2.8	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0	0.60		
1 広さ・収納性		病室個室10㎡/床以上。			-	5.0	0.54		
2 高度情報通信設備対応					-	3.0	0.46		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	1.0	0.40		
1 広さ感・景観					-	1.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(B)、給湯(B)、冷媒(C)、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		

	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性			2.8	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり			1.8	0.16	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.7	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	住居・宿泊部分は0.1≦[壁長さ比率] <0.3	3.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.16	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.67	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
	1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1	エネルギー			-	0.40	-	-	3.2
	1 建物外皮の熱負荷抑制		非住宅部分BPI _m =0.70、住宅部分断熱性能等級3相当	4.0	0.20	-	-	4.0
	2 自然エネルギー利用			2.5	0.10	-	-	2.5
	3 設備システムの高効率化		非住宅部分 BPI _m =0.93 住宅部分 BPI=0.90 LED照明設備を導入している	3.1	0.50	-	-	3.1
	4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	0.54	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	0.46	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
	1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
	1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率95%	3.2	0.33	-	-	3.2
	2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	